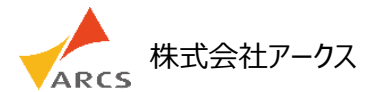


2026年6月2日

News Releases

ニュースリリース



株式会社アークス、脱炭素行動変容プロジェクトに参画 ～売場と教育を連動し環境配慮商品の需要創出へ～

株式会社アークス（本社：北海道札幌市、以下アークス）は、生活者の脱炭素への意識・行動変容を促すことで企業の脱炭素の取り組みを加速させ、脱炭素社会を構築することを目指して、株式会社日本総合研究所（以下「日本総研」）が主催する「チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム（Challenge Carbon Neutral Consortium）」（以下「CCNC」／注1）に2026年度から参画いたします。

この度、当社を含む小売流通やメーカーなど民間企業21社で構成するCCNCは、全国の16自治体・団体と連携して、生活者に対して脱炭素行動変容を促す「みんなで減CO2（ゲンコツ）プロジェクト2026」（以下「本プロジェクト」）を始動いたします。

■本プロジェクトの概要

昨年度の活動では、エコラベルやカーボンフットプリント（CFP）に関する学習コンテンツと、店舗での環境配慮商品の販促キャンペーンを通じて、以下の示唆を得ることができました。

- 「教育啓発」と「販促購買」を組み合わせることで、割引や還元に頼らなくても「学び」が動機となって、普段の買い物からエコラベルを確認する「目利き」ができる生活者を増やせる
- 環境配慮商品の目印となるエコラベルに係る教育啓発を通じて、来店誘導から環境配慮商品の認知につながり、さらにはそうした商品の初回購入率や、単価・個数、継続購買率が高まる

この成果を更に発展させるべく、本プロジェクトは、①学習サポートハンドブック&コンテンツ「エコラベルハンター 1.5℃大作戦」の規模拡大による社会的なムーブメント形成の加速、②学びの質の追求による行動変容の拡大と定着、③広範な購買行動データ等の分析を通じた脱炭素行動変容に関する理解の深化、を注力施策として展開いたします。

2026年6月1日より、これらの施策の一つとして、児童が楽しみながら脱炭素を学べる学習サポートハンドブック&コンテンツ「エコラベルハンター 1.5℃大作戦」の特設ウェブサイトを開示し、応募受付を開始いたしました。

「エコラベルハンター 1.5℃大作戦」特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/genco2/event/2026ecolabel/index.html>

■ アークスグループの役割

アークスグループの一員である株式会社ラルズ（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：猫宮一久、以下ラルズ）、株式会社東光ストア（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：広中裕之、以下東光ストア）ならびに株式会社エルディ（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：横山清、以下エルディ）は、地域のお客様の日々のお買い物を支える小売事業者として、脱炭素型商品の普及と需要創出に取り組んでまいります。

本プロジェクトでは、日本総研が教育啓発コンテンツの開発と運営、生活者アンケートやインタビューなどの全体企画を担います。また、三井住友フィナンシャルグループは日本総研と協働で、CCNC 参画企業の協力を得て「エコラベルハンター 1.5℃大作戦」と連動した店舗での啓発や販促キャンペーンを展開し、生活者へのアンケートや ID-POS データを組み合わせて商品選択や消費行動の要因（教育啓発）と結果（販促購買）を紐づけて分析します。

連携する自治体等は、教育委員会・学校等との調整や有効な教育啓発コンテンツ開発への協力・助言、催事の主催、活動の周知・集客を担います。また、CCNC 参画企業は、教育啓発コンテンツ開発への協力と運営、効果検証の企画と支援、商品や売場の提供、キャンペーンの実施、企業・製品の脱炭素化・見える化の推進などで協力します。

国の脱炭素政策においては、バリューチェーン全体の脱炭素化が進められる中、特に消費者をはじめとする需要側への対応に注目が集まっております。

アークスグループは、本プロジェクトを通じて、地域のお客様とともに脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

（注1）CCNC 参画企業や連携自治体の一覧、活動内容の詳細は下記 URL をご覧ください。
チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム特設ウェブサイト

<https://www.greenmarketing-lab.com/ccnc/index.html>

以 上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
株式会社アークス サステナビリティ推進室
齊藤／広地
TEL：011（530）1040